

## 会 議 録

会議の名称	平成 28 年度 第 2 回文化財審議会
開催日時	平成 28 年 9 月 29 日(木) 15 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	吉川節男委員、佐々木真理子委員、大久保善郎委員、塩入たま江委員、 杜多堯慶委員、松本伸行委員、 事務局（鳥海課長、和田副課長、堀主査、佐藤主事）
欠席者	大根田良夫委員
会議次第	1. 議案事項 （1）市指定文化財の諮問について 2. 報告事項 （1）水子貝塚星空シアターについて （2）人間東部地域史研究発表会について （3）その他 3. その他
会議資料	・市定文化財（諮問）に関する資料 ・水子貝塚星空シアター報告資料 ・地域史研究発表会資料
公開・非公開	公開（傍聴人 0 人）
会議録確認	吉川委員

## 会議内容

あいさつ（議長、課長）

### 1. 議案事項

#### （1）市指定文化財の諮問について

事務局：前回、教育委員会より指定候補の中から3件の文化財（大澤家文書・林家文書・打越式土器）について指定文化財に値するかどうかの諮問を受けた。今回は、実際に候補の資料を見ていただいたうえで、市指定文化財に適切かどうかご検討いただきたい。

— 資料の概要説明・実物資料の閲覧 —

事務局：古文書については、どうかご意見を伺いたい。

委員：資料として、保存状態も良好である。

委員：大澤家文書については資料館の寄託、林家文書については所有者保管であり、現所有者も代が替わると資料もどうなるか分からなくなる場合もある。後世に残すなら、今、指定して保存するしかないと思う。

事務局：活用等についての付帯意見はないか。

委員：市内には、一般市民サークルに古文書サークル等があるが、そういった市民が閲覧・活用したい場合は、対応できるのか。

事務局：資料館では、保管する古文書について全てコピーをとり、対応できるように取り計らっている。

委員：学校での活用はないのか。

事務局：これまでに学校で活用したとは聞いていない。

委員：まず保存して後世に残すことが第一であるが、活用面についても検討してもらいたい。

事務局：打越式土器についてはどうか。

委員：土器は完形品なのか。

事務局：完形品ではなく、業者に依頼して修復している。この時期のものは、作りが薄く、脆いものが多い。

候補の3点以外は、ご覧いただいたように大型破片はあるが状態はあまり良いとはいえない。

委員：打越式土器のように、市内の遺跡名を形式名に冠した土器は、貴重で地元として、もっとPRすべきだと思う。

委員：指定することで市民への周知にもつながるので、そこから活用も広がっていくと思う。

事務局：今回の候補3点について、市指定として適切ということでよろしいか。

委員：良いと思う。

事務局：では、意見としてまとめたものを次回会議の前に送らせていただき、第3回会議で答申としてまとめたいと思う。

### 2. 報告事項

#### （1）水子貝塚星空シアターについて

— 事務局より報告 —

・来場者は約 3,600 人。昨年よりは、確実に多く賑わっていた。

(2)入間東部地域史研究発表会について

— 事務局より報告 —

- ・ 2市1町（富士見市・ふじみ野市・三芳町）で入間東部地域の戦後史について、発表会を実施する予定  
日時は平成 28 年 11 月 19 日（土）午後 1 時 30 分～午後 4 時、  
会場は、ふじみ野交流センター 多目的ホール

次回会議

次回の日程については、1 月中～下旬を目途に日程を調整する。

